

亀戸子ども会連合会育成者研修会のお知らせ

育成者の皆様には、地域の子どもの健全育成や亀子連の行事にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

今年度の亀子連育成者研修会は、長年企業の新人採用に当たられ、その後の新入社員研修に携って来られた梶様に、ジュニアリーダーの活動や運営が実社会の縮図であると感じてる事から、ジュニアリーダーの活動や運営を通して経済産業省が定義した「社会人基礎力」について講演をしていただきます。

お忙しいとは存じますが、多数の関係者の皆様にご出席をお願い申し上げます。

記

テーマ JLと子ども会活動～社会人基礎力を育む地域活動の在り方について
 講師 江東区少年団体連絡協議会西部地区指導者 梶 恵一
 日時 平成29年11月15日(水)
 受付開始 午後6時45分
 講演 午後7時～午後8時30分
 場所 青少年交流プラザ3階 多目的ルームB

また、以下に、JLと江少連の説明を付け加えさせていただきます。

※ジュニアリーダー (JL)

ジュニアリーダーとは江東区・江東区少年団体連絡協議会・江東区青少年委員会が関係し、江東区地域振興部青少年課地域連携係ジュニアリーダー講習会担当が行う、小学校5年生～中学校1年生を対象とする初級講習会を修了し、小学生6年生～高校3年生までの中級講習会を修了するとなれます。

ジュニアリーダーの仕事は子ども会等の活動や遊びのリーダーとなるお兄さん、お姉さんの事で子ども祭りや地区行事、少年キャンプなどで活躍しています。子ども会では、こどもたちの「意見」や「考え」を聞いて、大人たちと話し合い、行事を企画します。

※江東区少年団体連絡協議会 (江少連)

江東区を9地区に別け、それぞれが連合会を作り、地域の子ども会を纏めています。

連合会の上部団体が江東区少年団体連絡協議会です。

以下に江東区を九つに分けた連合会名と参加地域名です。

江東区少年団体連絡協議会

- | | |
|-------|--|
| 東陽連合会 | 東陽地区の子ども会 |
| 西部連合会 | 森下・新大橋・常盤・高橋・白河・平野・三好・清澄地区の子ども会 |
| 南部連合会 | 永代・越中島・佐賀・門前仲町・冬木・富岡・牡丹・木場・古石場
福住・深川地区の子ども会 |
| 北部連合会 | 石島・千田・千石・毛利・住吉・猿江・扇橋・海辺地区の子ども会 |
| 江南連合会 | 塩浜・枝川・辰巳・豊洲・東雲・有明・潮見・青海地区の子ども会 |
| 亀戸連合会 | 亀戸地区の子ども会 |
| 大島連合会 | 大島地区の子ども会 |
| 砂南連合会 | 南砂・東砂6～8丁目・新砂・新木場地区の子ども会 |
| 砂北連合会 | 北砂・東砂1～5丁目地区の子ども会 |

会活部

子どもと社会人基礎力

江東区 梶 恵一

2018年4月入社の新卒者の就職戦線も終盤。すでに70%近い内定率だといわれています。今年は「売り手市場」つまり学生さん側に優位性がある、企業側は良い人材の獲得に大変苦労しているようです。企業で人事採用の実務に30年関わってきた私もその苦労してきたひとりでした。

さて、ここでいう「良い人材」ってどんな人でしょう？「良い」とは何が良いのでしょうか？そのひとつのモノサシとなるのが「社会人基礎力」です。

2006年に経済産業省が企業に依頼し調査しました。「職場や地域社会で多様な人々と仕事を進めるために必要な基礎的な力」についてです。その結果、必要な力を大きく3つに定義づけられました。それが「社会人基礎力」です。具体的には「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の3つで、さらにそこから細分化された12の能力要素が具体的に掲げられています。

学生からビジネスの世界に入る為の大イベント「就活」。実は、売り手市場の世の中にあっても、企業が欲しい人材はごく少数です。良い人材はどこも取り合いになります。良い人材はひとりで数多くの内定を取り付ける一方、片や箸にも棒にもかからない何社受けてもひとつも内定が貰えない若者、入っても長続きしないのが大勢いるのも現実です。自分のやりたいことが見つからない、やりたいことができないという就活中の若者に、面接などを通じて今日に至るまでどんな日々を費やしてきたのか？と尋ねます。するとサークル活動やアルバイト経験を語ったりします。その経験をなんとか就職に結びつけようとするのですが、企業側の眼からすればなんとも表面的でひ弱なものです。この若者に是非来てほしいとかこの若者が一緒に働いているイメージがなかなか湧いてこないのです。

結論を先に言えば、私は就職活動を機に慌ててそこから「社会人基礎力」を身に付けようとしてももはや手遅れだと思っています。では、いつから意識的に身に付けさせたらよいのでしょうか？ズバリ、それは小学校の高学年からだと考えます。この時期はジュニアリーダーとしてのスタートとぴったり当てはまっています。

「少年キャンプ」の例を挙げます。キャンプというイベントでは何が行われているか？またキャンプ参加者はどんな環境でどんな行動が求められるか？を考えてみてください。キャンプは、まさに「社会人基礎力」を醸成する場です。自然の中での集団生活や班活動は「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の場であり、それを磨く絶好の場なのです。ジュニアリーダーはキャンプのプロであり熟練者、つまり人財集団です。

私たち育成者の活動は、その「社会人基礎力」を持つ人財を増やす活動であり、それを自然に身に付けてゆく子どもの分母を増やす活動です。それはすなわち魅力ある地域や社会、明るい日本の未来の礎を築く活動に他なりません。そう改めて考えると目の前には宝石がたくさん転がっていることに気づかされ、この活動にどう自分が関わっていくかが見えてきそうな気がします。

『社会人基礎力』とは?

『社会人基礎力』とは、読んで字のごとく社会人が基礎的に備えておくべき能力のことです。経済産業省によって「職場や地域社会の中で多様な人々と共に仕事を行っていくうえで必要な基礎的な能力」と定義された「前に踏み出す力(アクション)」「考え抜く力(シンキング)」「チームで働く力(チームワーク)」の3つの能力の総称です。そして、その「3つの能力」は、さらに「12の能力要素」から成り立っています。

経済産業省が企業向けに行った「社会人基礎力に関する緊急調査」では、9割以上の企業が新卒採用や人材育成において「社会人基礎力」を重視していると回答しています。

近年、我が国の産業社会を取り巻く環境は大きく変化しており、国内市場の成熟化やグローバル競争の激化により商品サイクルの短期化がもたらされ、企業は「新しい価値のある商品やサービスをいかに早く創り出すか」が強く問われるようになりました。

また、IT化の進展に伴い、資料配布やデータ集計といった職場における単純な作業は、機械化や自動化が進み、企業の若手に対しても、当初から難易度の高い仕事期待されるようになります。

社会において何らかの意義ある役割をはたすことが求められる社会人が、課された役割や仕事をこなすとき、指示待ち人間、マニュアル人間、一匹オオカミでは周囲の人をあきれさせ、困らせてしまいます。

指示待ち人間ではなく『前に一歩踏み出せる力』を備えたい。
マニュアル人間ではなく『考え抜く力』を持ちたい。
一匹オオカミではなく『チームで協力する力』を身につけたい。
さもないと組織や地域において周囲から評価されず、自分の位置を確保するのに苦労します。

現に周囲を見渡すと、学力は決して低くないのに、仕事の成果が上がっていない人がいます。それなりに頑張っているのだが、いつの間にか周囲から浮いてしまう人がいます。決して悪い人ではないけども、一緒には仕事したくないような人もいます。そうした人々には、どこか社会人基礎力が欠けていることがあります。他方で、学力が必ずしも高くなくとも、周囲と調和を取りつつ、目覚ましい活躍を見せる人は沢山います。

人の社会での活動には、思いやりや公共心、倫理観、基礎的なマナー等の「人間性、基礎的な生活習慣」の土台がまず必要です。

社会人基礎力は社会関係を築くうえで必要とされる能力であり、社会関係の中でこそ育まれ、この種の能力には社会関係や人間関係で採られた経験が役立ちます。だから学校で課題を個人的にこなす能力しか磨いてこなかった人には、どうしても不足しがちになるのです。

従来「自然に」それらの能力を磨く場として存在してきた家庭や地域社会の教育力が低下し、部活動や集団活動への参加が低下するなどにより、若者の間で、このような基礎的な能力のばらつきが拡大し、またそのような能力と学力との相関関係が弱くなっていることも指摘されるようになりました。

それゆえ、子供時代から社会に出た若手時代までの間に、学力・体力だけでなく、社会人基礎力もまた、意識的に育成し、積極的に評価していく必要があります。

今の学校教育や若手社員教育は、この課題にうまく応えているでしょうか。

「人間力」の向上



『社会人基礎力』は、事に例えると「人間性、基本的な生活習慣」という人間のベースになる「車体」に乗って、「基礎学力」や「専門知識」という「タイヤ」を、効果的かつ効率的に動かして人間力を向上させる「エンジン」の様なものです。

「社会人基礎力」3つの能力と12の能力要素



前に踏み出す力(アクション)

主体性・・・物事に進んで取り組む力
働きかけ力・・・他人に働きかけ巻き込む力
実行力・・・目的を設定し、確実に行動する力

実社会の仕事において、答えは一つに決まっておらず、試行錯誤しながら、失敗を恐れず、自ら一歩前に踏み出す行動が求められます。失敗しても、他者と協力しながら、粘り強く取り組むことが求められる。



考え抜く力(シンキング)

課題発見力・・・現状を分析し目的や課題を明らかにする力
計画力・・・問題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
創造力・・・新しい価値を生み出す力

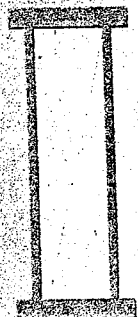
物事を改善していくためには、常に問題意識を持ち課題を発見することが求められる。その上で、その課題を解決するための方法やプロセスについて十分に納得いくまで考え抜くことが必要である。



チームで働く力(チームワーク)

発信力・・・自分の意見をわかりやすく伝える力
傾聴力・・・相手の意見を丁寧に聴く力
柔軟性・・・意見の違いや立場の違いを理解する力
情報把握力・・・自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
規律性・・・社会のルールや人との約束を守る力
ストレスコントロール力・・・ストレスの発生源に対応する力

職場や地域社会等では、仕事の専門化や細分化が進んでおり、個人として、また組織としての付加価値を創り出すためには、多様な人との協働が求められる。自分の意見を的確に伝え、意見や立場の異なるメンバーも尊重した上で、目標に向けた協力が必要である。



わが街活性化のお手伝い
江東しろすじ会

代表 梶 恵一
Kaji, Keichi



専任のおじさま

カジマンのブログ(URL): <http://ameblo.jp/kaji-k123/>
Mobile: 070-3660-7044 / E-mail: Keichi.kaji@ezweb.ne.jp

わが街の活性化に少しでもお役に立ちたい...

生粋の江東区育ち、 カジマンこと梶恵一です!

地域ボランティアとして、年齢・業種・性別・国籍の違いを超え、タテ・ヨコとは違う「ナナメ」の関係性を築いていけたらと思っています。ヨコ揺れ・タテ揺れにも負けない「筋交い」として、子供から学生・社会人、人生の諸先輩方と共に地域活性化へのお役立ちを。それを「かじ手伝い」と称しています(笑)

自宅: 〒135-0021 東京都江東区白河2-19-7
TEL & FAX: 03-3642-6914 / E-mail: kaji-k1@baynet.jp

◆ 社会人基礎力 自己分析シート ◆

【1】主体性（物事に進んで取り組む力）	点	5段階評価で 1～5点を記入
1. 指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む		
2. 他人に先駆けて自己を打ち出している		
3. 定見を持って自主的に判断して行動している		
4. 躊躇することなく行動に移っている		
5. 何事も自分のこととして受け止めて動くことができる		
6. 公私ともに自己啓発にチャレンジできる		
		点

【2】働きかけ力（他人に働きかけ巻き込む力）	点	5段階評価で 1～5点を記入
1. 周りの人に率先して呼びかけ、目的に向かって周囲の人を動かしていく		
2. 他人を目標に向かって集中させる		
3. 自分の目標を取り下げても、全体をまとめるように専念している		
4. 全員に働きかけて課題達成に導いている		
5. 発言をひとり占めしたり、攻撃的言動でしらせさせたりしていない		
6. あまり意見のでないメンバーの発言を促している		
		点

【3】実行力（目的を設定し、確実に行動する力）	点	5段階評価で 1～5点を記入
1. 言われた事だけをやるのではなく、自ら目標を設定し、失敗を恐れずに行動に移し粘り強く取り組んでいる		
2. 時間が経過しても疲れを見せずに行動している		
3. 責任感があり、何事にも簡単にはあきらめない		
4. 何事にもスピード感を持って迅速に行動する		
		点

【4】課題発見力（現状を分析し、目的や課題を明らかにする能力）	点	5段階評価で 1～5点を記入
1. 目標に向かって、自らここに問題があり、解決が必要だと提案する		
2. なぜそうなっているのかを常に考えている		
3. 物事の本質を見極め、原因を掘り下げ、要因を探っている		
4. あるべき姿やあるべき基準に照らして、近づけるようにしている		
5. 目標達成の阻害要因を把握し、その排除に取り組んでいる		
6. 現象面に捉われず、内在する原因をつかむようにしている		
		点

【5】計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）	点	5段階評価で 1～5点を記入
1. 課題に解決に向けた複数のプロセスを明確にし、その中で最善のものは何かを検討し、それに向けた準備をしている		
2. 目標達成に至る道順をまえて立てている		
3. 前もって時間の配分や進行の手順を具体的にたてている		
4. 常に目標に向かって進んでいるかを意識している		
5. 目標達成のための役割分担、スケジュールリング、進行度のチェック体制などの組立を適確に進めている		
		点

【6】創造力（あたらしい価値を生み出す力）	点	5段階評価で 1～5点を記入
1. 既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考えている		
2. 既成概念に捉われず、自由で新しい発想ができる		
3. 他人の考えにヒントを得て、新しいアイデアを出している		
4. 前歴や慣行や前任者のやり方に拘らず、豊かな発想で変革していく		
5. 時代や環境の変化を先取りし、先見性に基づく革新を目指している		
6. いくつかの考えを統合して、新しい考え方を打ち出している		
		点

【7】 発信力 (自分の意見をわかりやすく伝える力)	点	5段階評価で 1～5点を記入
1. 自分の意見をわかりやすく整理したうえで、相手に理解してもらえるように適確に伝えている		
2. 明瞭な発音で、流暢な話方をしている		
3. 相手に視線を向け、身を乗り出して話している		
4. 簡潔に短時間で要点をまとめて話している		
5. 気持ちがありありと伝わり、説得力がある		点

【8】 傾聴力 (相手の意見を丁寧に聴く力)	点	5段階評価で 1～5点を記入
1. 相手の話しやすい環境をつくり、適切なタイミングで質問するなど相手の意見を引き出している		
2. 相手の発言や気持ちを全身を耳にして聴いている		
3. 他人の発言に対してフィードバックし要旨を確認している		
4. 相手の話の腰をおらず、最後まで聞くようにしている		点

【9】 柔軟性 (意見の違いや立場の違いを理解する力)	点	5段階評価で 1～5点を記入
1. 自分のルールややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し、理解するようにしている		
2. 他からのアドバイスをすすんで受け入れている		
3. 状況に応じて、相手への接し方を修正している		
4. 自分の案に固執することなく、よりよい案を受け入れるようにしている		点

【10】 状況把握力 (自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力)	点	5段階評価で 1～5点を記入
1. チームで仕事をするとき、自分がどのような役割を果たすべきかを理解している		
2. 自分の行動や発言が相手にどのような影響を与えているかを考えている		
3. 利己的な態度をとらず、他の人たちとギクシャクすることはない		
4. 特定の人に意識をするのではなく、グループ全体に気を配っている		
5. 全体に及ぼす影響を意識し、考えながら行動している		点

【11】 規律性 (社会のルールや人との約束を守る力)	点	5段階評価で 1～5点を記入
1. 状況に応じて、社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律している		
2. 法と規則を守り、信用を確保・維持している		
3. 高い倫理観を持ち、公正に対応している		
4. 集合、開始、休憩、終了、解散時の時間厳守や対応は適確である		
5. 決められたことについては素直に従っている		点

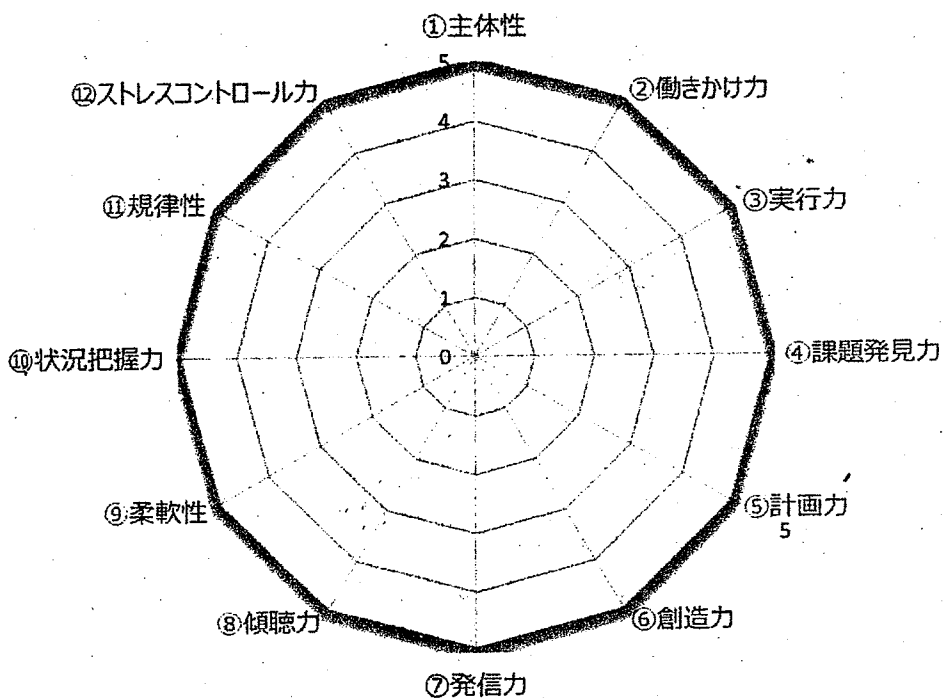
【12】 ストレスコントロール力 (ストレスの発生源に対応する力)	点	5段階評価で 1～5点を記入
1. ストレスを感じるがあっても、成長の機会だと前向きにとらえて肩の力を抜いて対応している		
2. 圧迫状況下にあっても、質の高い判断をし、課題を遂行している		
3. 圧迫そのものが気にならず、真からリラックスしている		
4. 一貫して安定した気持ちを持ち続けている		
5. 圧迫にあっても攻撃的にならず、イライラすることもない		
6. 適当な気晴らしの方法を持っている		点

■ 点数基準
 5：その通り 4：ほぼその通り 3：どちらでもない 2：ほぼ当てはまらない 1：当てはまらない

総合計
／ 60

◆ 社会人基礎力分析表 ◆

各項目ごとの点数をプロットして社会人基礎力のバランスシートを作ってください。



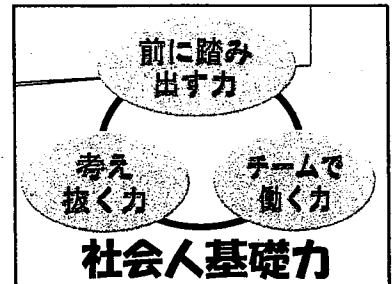
	満点	貴方の得点	備考
①主体性	5		
②働きかけ力	5		
③実行力	5		
④課題発見力	5		
⑤計画力	5		
⑥創造力	5		
⑦発信力	5		
⑧傾聴力	5		
⑨柔軟性	5		
⑩状況把握力	5		
⑪規律性	5		
⑫ストレスコントロール力	5		
	60		

※ 貴方の今の得点を記入し、備考欄に今後伸ばすべき力や改善点等をいれて目安にしてください。
 ※ 下記に強みと弱みをそれぞれ3つずつ書き出し、セッション時などの目標設定の目安にしてください。

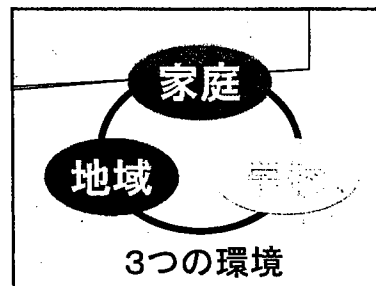
強み(3つ)
弱み(3つ)

江東五区少年団体代表者会議
基調講演
**「子ども会活動と
社会人基礎力」**
～育成者は組織人プロデューサーなのだ！～
2017. 10. 14
江東区青少年指導員・講師 梶 恵一

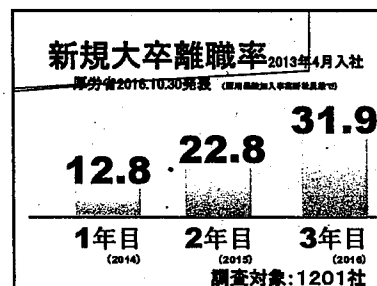
「社会人基礎力」
(経済産業省)
職場や地域社会の中で
多様な人々とともに
仕事を行なってゆく上で
必要な基礎的な能力



**「社会人基礎力に
関する緊急調査」**
調査対象: 上場1671社・中小1000社
調査内容: 企業が求める人材像(重視する能力)
①前に踏み出す力(主体性・働きかけ・実行力)
②考え抜く力(課題発見力・計画力・創造力)
③チームで働く力(発信力・傾聴力・柔軟性・
状況把握力・規律性・ストレス調整力)



ゆとり世代→さとり世代
●2002～2010年の指導要綱による教育
……………慣れ1990年代生まれの若者の世代
(特徴)
・欲が多い・高のどおしがない(車・ブランド・海外旅行)
・容姿に興味がない(タンパク・低濃)
・休日自宅、または周辺で過ごす
・無駄遣いがない(目的のみの消費)
・好きな趣味にはお金を惜しまない
・気の合おぬぬは行言わない(弱がり早く切れやすい)



企業に蔓延するこんな若者
・オフィスに掛かってきた電話に出ない
(自分の仕事?・公的対応・失敗と恥の回避)
・すぐに結果が出ることしか興味持たない
(×コツコツや努力・早く楽して効率よく)
・仕事の目的はスキル磨き→好条件・厚待遇
(不透明時代にカッコよく転職して自由に生きる人)
・顧客サービスより自分のやりたいこと
(自分と顧客や組織チーム・×会社のつきあい)
・グーグル先生への依存
(自分の頭?・正解はすでにあるもの・疑わない)
・判らないのに質問できない
(判ったつもりと判ったフリ)
・根拠のない自信
(大丈夫です・はい頑張ります)

子ども会活動
**社会人
育成支援活動
キャンプ**

社会や人生で
大事なことは
JL活動で学べる

区長への手紙¹⁹⁸⁶ → 出会い...
☆
「ジュニアリーダー」
☆

非日常体験/生きる力
☆
キャンプ
☆

キャンプ体験で手に入るもの

1. 自然を理解し
感動するところ・共生するところ
2. 自分自身の成長 = 自立
3. 自分以外のひととの間わり

キャンプとは？

- ・面倒くさい (食う・寝る・協働)
- ・きたない (トイレ・泥・土)
- ・気持ち悪い (虫・くも・死骸)
- ・つらい (狭く・雨・寒・曇)
- ・きびしい (きまり・リーダー)
- ・こわい (蛇・音・闇・おぼけ)
- ・不便 (電気なし・手作り・手間)

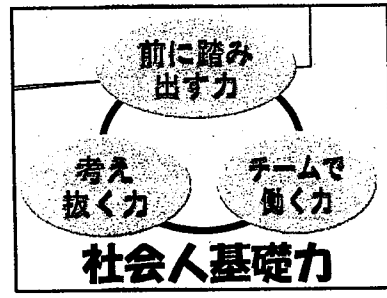
たくましく生きる力

「キャンプ」は若者層に欠けている...
現状に ~~心~~
自分で ~~力~~
仲間と ~~経験~~
を持った人間にさせてくれるのです

改訂の最新学習指導要領の前文では...

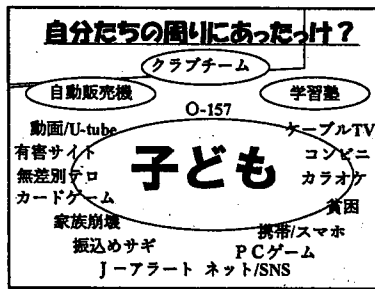
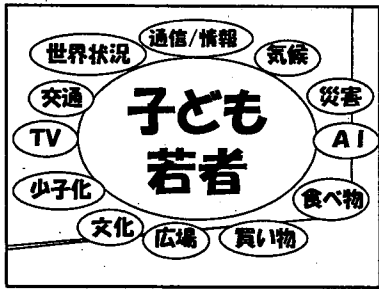
知識や理解だけでなく
新しい時代をたくましく **「生きる力」**

- 課題解決に必要な
 - ・思考力
 - ・判断力
 - ・表現力
- 主体的に学習に取り組む態度
- 多様な人々との協働・コミュニケーション能力



今の子どもや若者を相手するにあたって...

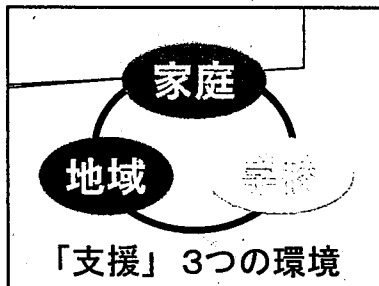
~~自分らのときは
こうだった。
だから、
子どもも自分の
経験を踏まえて...~~



今の子どもを取巻く環境

●社会環境

- ・情報化社会 (大量情報/必要情報)
- ・携帯/スマホ/SNS/U-tube
- ・対面対人関係/群れ遊び...表情
- ・PCゲーム/個人遊び
- (自己中・リアルとバーチャル・リテ可)
- ・信頼社会の崩壊
- (近所づきあい)

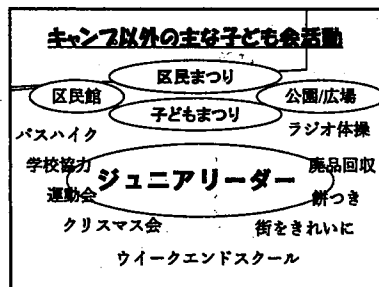


社会人育成支援活動
地域社会=育成者

子どもへの働きかけ
家庭&学校
理解者→つなぐ実践者

その実働部隊であり熟練者であり
 親来のわが街や日本を作ってゆく存在...

ジュニアリーダー



ジュニアリーダー (1)

●JL(中学生)

- ・教えられる立場から教える立場
- ・それにふさわしい態度・行動
- ・活動を通して協働による先輩の観察
- ・そして自らの経験・実体験を積む
- ・プログラム運営を通して
- ・リーダーとしての自覚が高まる
- ・子ども達と直に接してわが身の振り返り

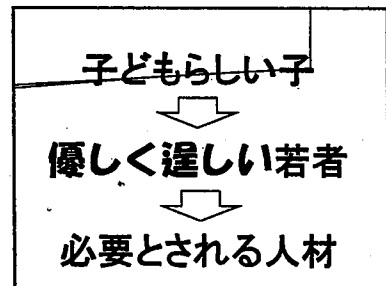
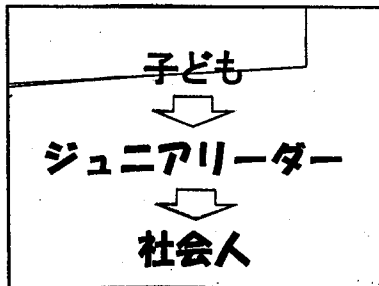
ジュニアリーダー (2)

●JL(高校生)

- ・みんなの手本としての行動
- ・個性や違いやウケなど自己表現
- ・下級生への指導とよき相談相手
- (頼れるお兄さん&お姉さん)
- ・班付リーダー/フロア/
- コースレ/プログラムLなど
- ・プログラム運営の実働部隊としての活躍

ジュニアリーダー (3)

- JL (高校卒業生・それ以上)
- 円滑なプログラム運営の後方支援 (障のフロテューサー)
- 事故や怪我等の防止へ安全管理チェック
- 緊急事態/突発事項の対策
- 事務局・講師・子供会委員・育成者のパイプ役
- スキルアップめざすリーダーへの身近な相談役 (アドバイザー)
- メンタル面のサポートやケア (カウンセラー)



子どもが育まれ
社会が安定向上する
街づくり・地域づくり・社会づくり

キャンプ

ジュニアリーダーを増やす
→「社会人基礎力」の醸成
→明日の社会をつくる人材

子ども会活動

社会人育成支援

キャンプ

行動→目的→意味→夢
(石を運ぶ人)

1. 行動
 - ・重い石を運ぶ ←重くてつらくてはダメ
2. 目的
 - ・お金をもらってパンを買う
 - ・収入を継続できるようクビにならないよう働く
3. 意味・意義
 - ・親としての責任を果たす・家族を養う
 - ・土や泥道だった道を歩きやすくする
4. 夢
 - ・老若男女が楽しい遊び場い安心笑顔が溢れる公園をつくる
 - ⇒自分の成果が将来に繋がりがわが子次世代にとっても残れるもの

いま私たちが行っている
子ども会・社会人育成活動

1. 行動
 - ・子ども会運営行事に顔を出す
 - ・そこで置かれた運営課題・役割を果たす (アクト演り・読書会・お茶会・お楽しみ会・ふんぶん地区・パイプ・街歩き・会計)
2. 目的
 - ・子どもの育成・地域の人もともに行事を通じて楽しんでもらう
 - ・イベント後の反省会での気づき・仲間交流・家族が心配がなくなる
 - ・自分自身の学び直し・成長
3. 意味・意義
 - ・わが国の国力低くなる脅かす育成・継承 → 友がどう・高齢者・地元愛
 - ・自己実現・生きてる手ごたえ・センドライフの充実
 - ・家庭や学校を離れ込んだ地域活動ならではの子どもへの「支援」の手ごたえ
4. 夢
 - ・子どもジュニアリーダー→大人→親をつくる・未来をつくる・日本をつくる

30年前に出会った小学5年生…
ジュニアリーダーを経て
教員に、保育士に、看護師に、
ITエンジニアに、介護師に、
アナウンサーに、会社経営者に…
そして、お父さん&お母さんに…
わが子・わが孫ではないけれど
ここに未来を担う子どもたちがいる！
ひとりで見える夢は睡眠中の夢…
みんなで見る夢は実現できる夢！

